

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2009-72931(P2009-72931A)

【公開日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-014

【出願番号】特願2007-241665(P2007-241665)

【国際特許分類】

B 4 1 F 13/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/13 (2006.01)

B 4 1 F 33/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 F 13/00 D

B 4 1 J 29/12 A

B 4 1 F 13/00 C

B 4 1 F 33/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

給紙部から搬送される用紙を印刷する印刷部と、該用紙を搬送する胴とを有する印刷機に用いられ、該胴上の該用紙に転写用フィルムを押圧する押圧部を有する表面処理装置を備えた印刷機の表面処理装置であって、該表面処理装置は開閉可能なカバーにて覆われており、前記印刷機は前記カバーが閉まった状態のみ運転可能となっており、かつ、印刷機の運転中は前記カバーの閉状態を維持するカバーロック機構を備えたことを特徴とする印刷機の表面処理装置。

【請求項2】

前記カバーは分割された複数の分割カバーにより構成され、前記印刷機は全ての前記分割カバーが閉まった状態のみ運転可能となっており、かつ、前記カバーロック機構は全ての前記分割カバーの閉状態を維持することを特徴とする請求項1記載の印刷機の表面処理装置。

【請求項3】

前記印刷機が急停止する場合において、前記カバーロック機構は前記印刷機が完全に停止するまで前記カバーの閉状態を維持することを特徴とする請求項1記載の印刷機の表面処理装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

前記課題を解決するために、本発明は、給紙部1から搬送される用紙2を印刷する印刷部3と、該用紙2を搬送する胴19とを有する印刷機に用いられ、該胴上の該用紙に転写

用フィルムを押圧する押圧部 F を有する表面処理装置 6 を備えた印刷機の表面処理装置であって、該表面処理装置 6 は開閉可能なカバー 50 にて覆われており、前記印刷機は前記カバー 50 が閉まった状態のみ運転可能となっており、かつ、印刷機の運転中は前記カバー 50 の閉状態を維持するカバーロック機構 60、61 を備えたことを特徴としている。